

# 水と緑のまち奥州の市景観計画の取組状況は



わたなべ 俊 議員(奥和会)

**質問** 市では、景観計画を作成し、景観条例や方針が示されているがこれまでの取組状況と、散居景観を維持していくための考え方を伺う。

**市長** 平成26年に奥州市全域を対象として市景観計画を策定し景観条例を制定している。

そのため一定規模以上の建築物や木竹の伐採を行う場合、事前の届出を義務付け景観計画に則すよう指導している。

届出の状況は平成26年以降108件であり「エグネ」の伐採に制限を加えやむを得ない時は景観計画に資する

苗木等を植えるようにしている。  
また、田園と「エグネ」を配した散居集落は、本市の特徴的な景観であり保全と育成が必要と思っている。

## 散居を一望できる展望台を

**質問** 日本三大散居集落と言われる胆沢平野の伝統と農村文化を一望できる展望台が市民、訪れる人々から強く要望がある。今後新たに設置すべきと思うが。

**市長** 現在、見分森公園の中にあるが周辺の松林で視界は多少せまくなっている。新たな展望台については、今後の課題と考える。いずれ、散居集落は市の観光資源の一つであり、いさわ散居ガイドの会の活動支援等を行ないながら胆沢扇状地の風土、文化を活用しながら観光振興の発展に結びつけていく。



日本三大散居である胆沢扇状地

# 公の施設の見直しの進捗状況は



旧東水沢中学校跡地で行われる地域行事

**質問** 行革の一環である公の施設の見直しの進捗状況は。

**市長** 人口減少等による公共施設の需要の変化を踏まえ、更新や統廃合、長寿命化に取り組み、財政負担の軽減と平準化を図った適正配置を進める。公共施設白書を基に施設の管理、保存のあり方を定めた公共施設等総合管理計画も本年度策定する。

## 旧東中跡地の売却は

**質問** 公の施設の見直しの一つである旧東中の民間売却の取り組みの進み具合は。

**市長** 昨年度、本年度と2回、地元振興会に民間売却の方向性を説明。地元は、運動場の継続利用を希望しており、民間売却へのご理解を頂いているとい

う状況にはない。今後は当然、地元の見解を聞きながら、代替施設の検討はもちろん、長期的視点に立った売却後のまちづくりの青写真をしっかりと示していく。まずは、官民連携による土地の有効活用などの市場調査に取りかかる予定である。

## 財政計画見直し必要では

**質問** 次期総合計画策定と合わせ現在の長期財政見直しを見直すべきではないか。

**市長** 昨年度、新市建設計画延長に伴い財政計画を見直したものの、総合計画との整合性を図るため改めて見直すこととしている。市の財政力に見合った新規事業や施設の長寿命化の必要度、緊急度などを総合的に判断し財政見直しを見直す。



さとう 洋 議員(新世会)